アジアのマイノリティの人々の生活・文化・仕事・音楽

国際言語文化学科　**米野　みちよ**

- 連　絡　先　　TEL：054-264-5124
  E-Mail：michiyoyonenoreyes@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ　外国人 EPA 看護師プロジェクト　https://www.epa-project.com/
  フィリピン・カリンガ口承伝統　https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~yoneno/database.html

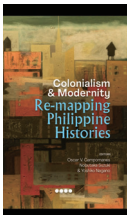
キーワード　フィリピン，東南アジア，EPA 看護師・介護士，先住民，外国人看護師・介護士，在日外国人，nurse migration，ゴング音楽，民謡

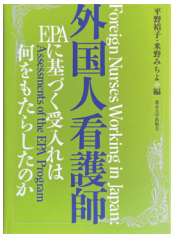
フィリピン北部の先住民の人々は、フィリピン国家の境界の内側に住む。よってフィリピン人である。しかし、その境界の周縁地域に住む。そして、その周縁地域は、アメリカ植民地時代、そしてその後も、より直接的にアメリカと関わった。彼らは、マニラに行っても疎外感を感じてしまう。時として、自国であるはずの、マニラで生産されるフィリピンのポピュラー音楽よりは、アメリカのポピュラー音楽に、より親近感を見出す。そんなギャップに注目している。

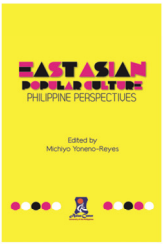
日本にいる外国人は、都会でもいなかでも、日本の社会の周縁にいることが多い。半分日本の社会に根を下ろしながら、心と体の半分は、自国や世界を見ている。

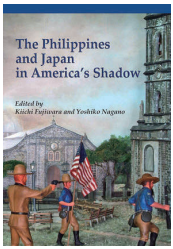
そんな彼らの、マイノリティゆえの、「国家」の境界をするりと超えていくタフさを、研究しています。

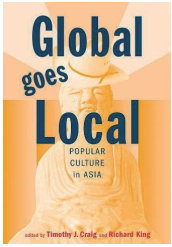
2022.11 新刊











アピールポイント　外国人看護師・介護士の受け入れに関して、彼らはどのように日本に来る決断をしたか、日本で働いたり勉強しながら何を望んでいるのか。そして、なぜ転職したり帰国したりするのか。彼らの本音の声を聞いてきました。ご関心のある方たちと、情報の共有をしたり、一緒に勉強したりしたいと考えております。
https://www.youtube.com/watch?v=wXXekWV6Xv0　「看護師は見た！外国人看護・介護人材から学ぶ日本の展望」（東大 TV での講演）